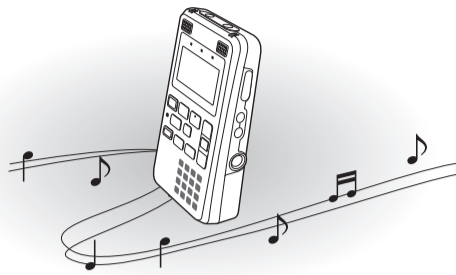


# レッスンマスター かんたんガイド



© 2010 Victor Company of Japan, Limited

## レッスンマスターについて

レッスンマスターは、簡単・便利で楽器の練習に最適なポータブルデジタルレコーダーです。本書では、お買い上げ後に「まず使いたい!」というときのために、基本的な録音操作を説明しています。また、うら面では本書をお手元に置いて楽器を練習できるように、チューナー、メトロノームの使いかたを説明しています。  
・レッスンマスターの設定や詳しい説明については、別冊の取扱説明書/保証書をお読みください。

本書をお読みになる前に、別冊の「取扱説明書/保証書」の「安全に正しくお使いいただくために」と「はじめに」をお読みください。

電池の状態によっては、スピーカーから大きな音を出すと突然電源が切れることがあります。その場合は音量を下げるか、ヘッドホンを使ってください。また、早めに新しい電池に交換するか、別売りのACアダプター(AA-R513)をお使いいただくことをおすすめします。

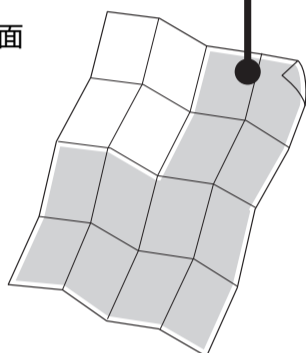
LVT2160-001A  
0810DUMMDWJMM

## 本書の構成

### 基本操作—まず使う

電源を入れて、録音してみましょう。録音したら、聞いてみて、聞いたあとは削除しましょう。

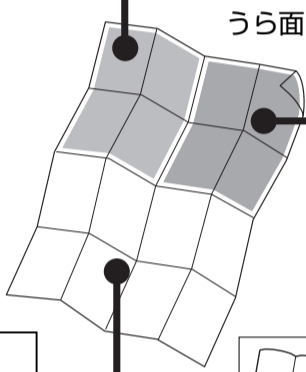
おもて面



### 楽器をチューニングする

チューナー機能を使って、楽器をチューニングしてみましょう。

うら面



### メトロノームとして使う

メトロノーム機能を使ってみましょう。

### 重ね録音、聴き比べレッスンをやる

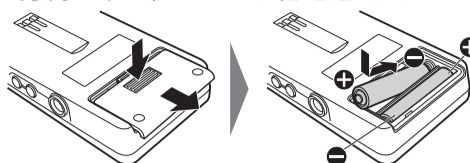
歌や楽器の演奏を重ねて録音したり、お手本と比べながらくり返し練習しましょう。

このマークの中の数字は、取扱説明書の説明ページです。

## 1 準備する 14, 24, 25

レッスンマスターの電源を入れましょう。

### 1 付属の単4形アルカリ乾電池を入れる



### 2 電源/ホールドスイッチを「電源」側に2~3秒押し上げる

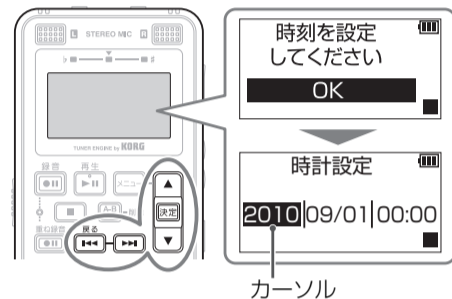


この画面が表示されたら、スイッチをはなします。

初めて電源を入れたときは、「時刻を設定してください」と表示されます。つづけて時計を設定してください。

### 3 決定ボタンを押して時計を設定する

- 日時を合わせる: ▲/▼ ボタンを押す
- カーソルを移動する: 戻る◀◀/▶▶ ボタンを押す



### 4 分にカーソルを合わせて決定ボタンを押す

設定が終わり、「音声タイトルを録音しますか?」と表示されます。「いいえ」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押してください。

レッスンマスターの準備ができました。

## 2 録音の前に 20, 30, 32

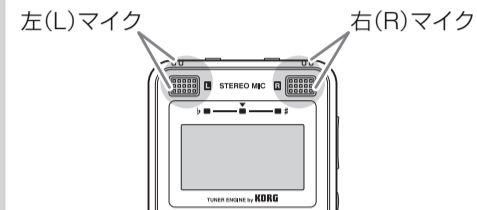
録音する前に、以下のことを知っておいてください。

### どこに録音されるの?

レッスンマスターでは、楽曲をmicroSDカードに録音します。お買い上げ時は、付属のmicroSDカード(2GB)がレッスンマスターに挿入されていて、そのままお使いいただけます。

### マイクはどこにあるの?

レッスンマスターの内蔵マイクは、正面の上側にあります。左右のマイクで、どの方向からの音も拾えます。

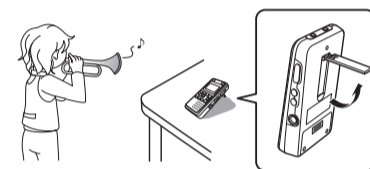


- ライン/マイク入力端子またはコンタクトマイク/ギター入力端子に機器をつないで録音することもできます。

本書では、内蔵マイクを使った録音操作を説明します。

### どうやって置くの?

マイクを演奏者に向けて、スタンドを立てて置きます。



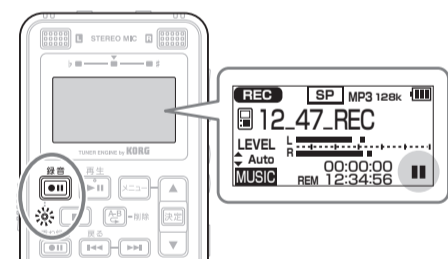
では、録音してみましょう。

## 3 録音する 38

いよいよ録音しましょう。

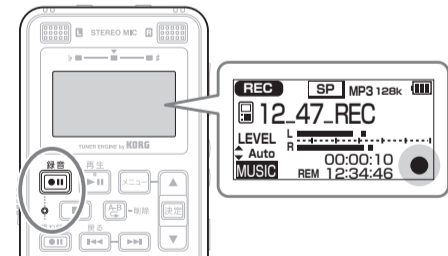
### 1 録音●|| ボタンを押す

録音待機の状態になります。

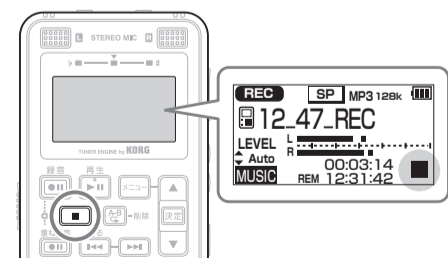


### 2 もう一度、録音●|| ボタンを押す

録音が始まります。録音する演奏を始めてください。



### 3 ■ ボタンを押して録音を終了する



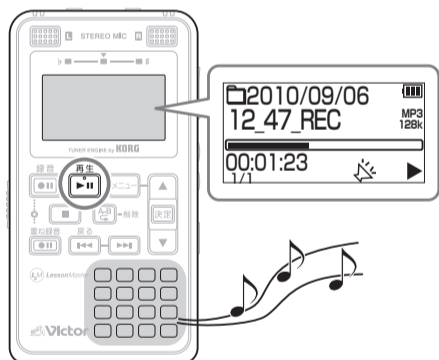
うまく録音できたでしょうか?  
→「聞いてみる」に進む

## 4 聞いてみる 53

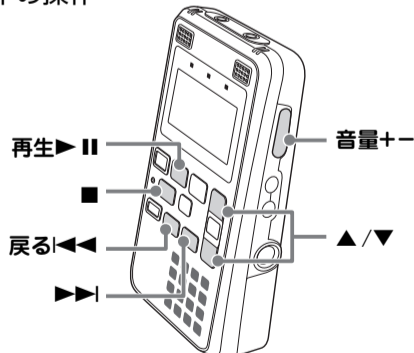
録音した演奏を聞いてみましょう。

### 再生▶|| ボタンを押す

録音したばかりの曲が再生されます(ワンタッチ再生)。



再生中の操作



操作	押すボタン
音量調節	音量+ ボタン、▲/▼ ボタン
一時停止	再生▶   ボタン もう一度押しすと、再生します。
次の曲の頭出し	▶▶   ボタン
再生中の曲の頭出し	戻る◀◀ ボタン
前の曲の頭出し	戻る◀◀ ボタンをつづけて2回押す
早送り	▶▶   ボタンを押してつづける
早戻し	戻る◀◀ ボタンを押してつづける
停止する	■ ボタン

うまく録音できていましたか?  
→「消す」に進む

## 5 消す 95

いらなくなった曲(ファイル)を消してみましょう。

### 1 削除したい曲を再生する

### 2 A-BC◀/削除ボタンを押してつづける

確認のメッセージが表示されます。

削除すると、もとに戻せません。よく確認してから手順3に進んでください。

### 3 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

曲が削除されます。



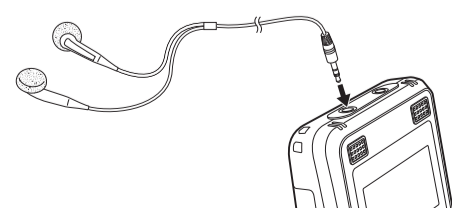
ひとつおりの操作できましたか?

## 🔑 使いかたのヒント

- 電源/ホールドスイッチを図の位置にすると、ボタン操作を無効にします。録音中のボタンの誤操作を防ぐことができ便利です。



- 録音するときに付属のヘッドホンをつなぐと、音声を聞きながら録音できます。



## 6 電源を切る 24

使い終わったら、電源を切りましょう。

### 電源/ホールドスイッチを「電源」側に2~3秒押し上げる



レッスンマスターの基本的な使いかたは覚えられましたか?  
うら面の、便利な機能も使ってみましょう。

- メニューの「録音リスト」を選び、録音日ごとに名前を付けられたフォルダが一覧表示され、再生したい曲を探すことができます。

- メニューボタンを押す
- ▲/▼ ボタンを押して「録音リスト」を選び、決定ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンを押してフォルダ(📁)を選び、決定ボタンを押す



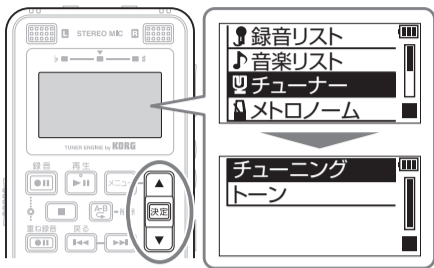
- ▲/▼ ボタンを押してファイル(🎵)を選び、決定ボタンを押す  
選んだファイルから、リストに表示されている順に再生されます。フォルダの最後のファイルの再生が終わると、再生は停止します。

レッスンマスターは、楽器のチューナーとして使うことができます。ここでは、クロマチックチューナーを使ってみましょう。

1 メニューボタンを押す

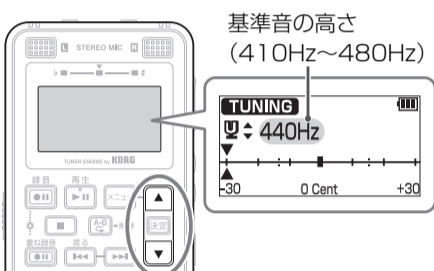
メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「チューナー」を選び、決定ボタンを押す



3 「チューニング」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンを押して基準音の高さを選ぶ

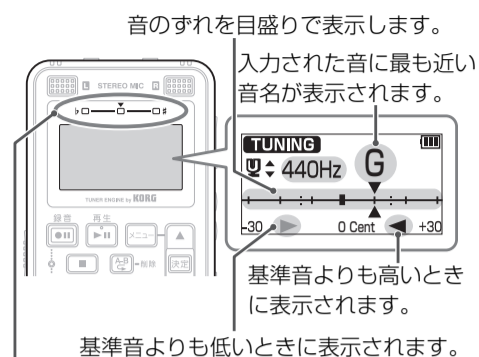


5 マイク(L側)に向けて、楽器を単音で鳴らす



6 チューニングする

画面とランプで、音のずれをお知らせします。例)ギター3弦(G)を鳴らしたとき



基準音よりも低いときに表示されます。

音のずれ	ランプ	b	▼	#
低い	●	○	○	○
やや低い	●	●	○	○
なし(ぴったり)	○	●	○	○
やや高い	○	○	●	●
高い	○	○	○	●

・チューニングが終わったら、メニューボタンを押してメニューに戻ります。

使いかたのヒント

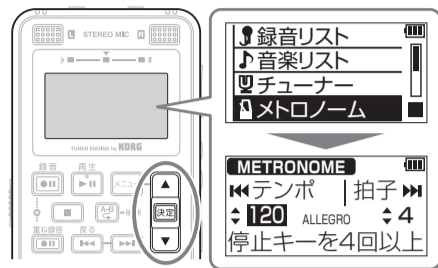
- エレキギターなどは、コンタクトマイク/ギター入力端子につないでチューニングすることもできます。
- ぴったりチューニングできると、ランプと表示は図のようになります。
- ▼ランプが緑色に点灯し、他は消灯します。
- 目盛りの中央を指します。
- 両方とも表示されます。

レッスンマスターは、メトロノームとして使うこともできます。

1 メニューボタンを押す

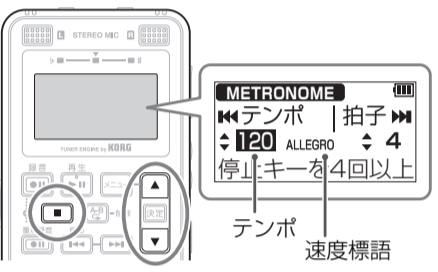
メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「メトロノーム」を選び、決定ボタンを押す



3 お好みの速さで、■ ボタンをつづけて4回以上押す

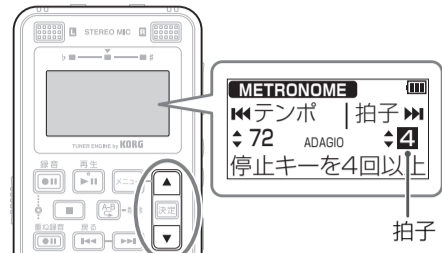
- ボタンを押すと確認音が出ます。押した速さに合わせて、自動的にテンポが変わります(TAP入力)。
- ▲/▼ ボタンを押してテンポを調節することもできます。
- ♪ = 30 (LARGHISSIMO) ~ プレステイシッシモ 250 (PRESTISSIMO) まで調節できます。



4 ▶▶ ボタンを押して「拍子」にカーソルを移動する

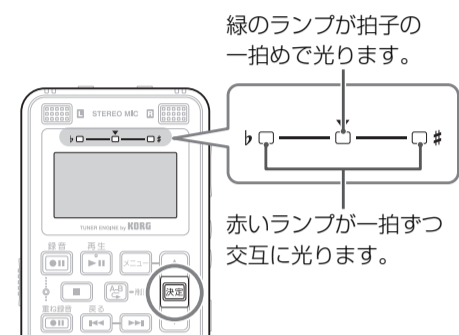
5 ▲/▼ ボタンを押して拍子を選ぶ

・0拍子~7拍子まで選べます。



6 決定ボタンを押す

レッスンマスターからリズム音が聞こえ、リズムに合わせてランプが光ります。



メトロノームを止めるには

- 決定ボタンまたは■ ボタンを押します。
- 決定ボタンまたは再生▶▶ ボタンを押すと、メトロノームを再開します。

使いかたのヒント

- テンポと拍子は、リズム音を聞きながら▲/▼ ボタンで変更されます。
- 音量+ ボタンで、リズム音の音量を変えられます。
- メニューを表示させて、「機能/設定」の「システム設定」から「メトロノーム音」を選ぶと、メトロノームのリズム音を変えられます。

レッスンマスターに保存されているWAV形式のファイルに、録音を重ねてみましょう。・重ね録音をすると、元のファイルとは別に、新しいWAV形式のファイルが作成されます。元のファイル名の末尾に「\_T××」をつけた名前で、元のファイルと同じフォルダに保存されます。

1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して「録音リスト」または「音楽リスト」を選び、決定ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンを押してフォルダまたはリストを選び、決定ボタンを押す

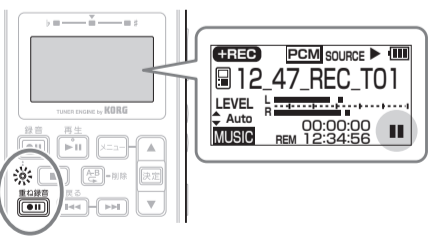
・再生したいファイルが表示されるまで、同じ操作を繰り返します。

4 ▲/▼ ボタンを押して録音を重ねたい曲を選び、決定ボタンを押す

選んだ曲が再生されます。

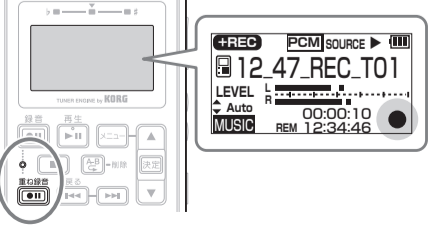
5 重ね録音●II ボタンを押す

重ね録音の待機状態になります。手順4で選んだ曲がくり返し再生されます。・ヘッドホンで音声を聞くことができます。

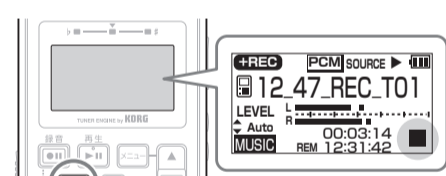


6 もう一度、重ね録音●II ボタンを押す

再生中の曲の頭から、重ね録音が始まります。録音する演奏を始めてください。



7 ■ ボタンを押して録音を終了する



- ボタンを押さなくても、再生曲の終わりで録音は自動的に終了します。
- 再生曲はくり返し再生されます。もう一度、同じ曲に重ね録音をするときは、重ね録音●II ボタンを押します。

うまく録音できたでしょうか？ →再生▶▶ ボタンを押して、録音した曲を聞いてみましょう

使いかたのヒント

- 1つの曲に、ギターやボーカルなどを、くり返し重ねて録音することもできます。その場合は、最大10回まで重ねることが可能です。
  - 次の機能と組み合わせて使うと、お好みで調節した曲にも録音を重ねられるので便利です。
    - キーコントロール(→73)
    - パートキャンセル(→75)
    - WAV変換コピー(→92)
- ( )内の数字は、取扱説明書の説明ページです。

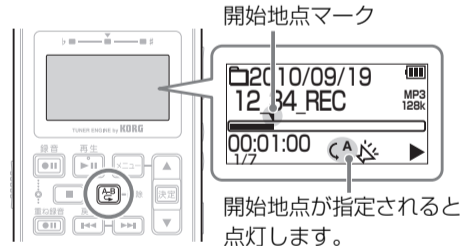
お手本と練習の演奏を交互に再生して聴き比べながら、同じフレーズをくり返し練習できます。・5分までのフレーズを練習できます。

練習するフレーズを決める

1 お手本の曲を再生する

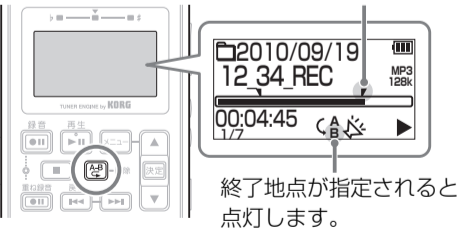
・メニューの「録音リスト」または「音楽リスト」を選び、リストから曲を探すことができます。

2 練習するフレーズの始まりでA-BC/削除ボタンを押す



3 フレーズの終わりでA-BC/削除ボタンを押す

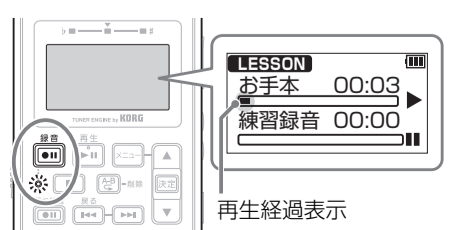
練習したいフレーズがくり返し再生されます。



お手本を聴く

4 録音●II ボタンを押す

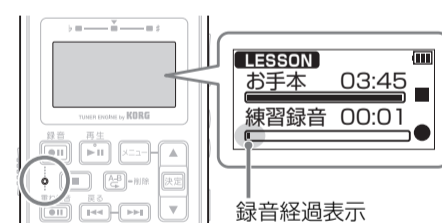
聴き比べレッスンが始まり、指定したフレーズ(お手本)が再生されます。・お手本再生は、再生▶▶ ボタンを押して一時停止することができます。



再生が終わると「ピッ」と音が鳴り、録音ランプが点灯に変わります。

練習を録音する

5 録音経過表示が動きだしたのを確認して、演奏を始める



・練習録音は、お手本の演奏時間よりも、約10%長く録音できます。時間になると「ピピッ」と音が鳴り、録音が自動的に終了します。

お手本と録音した練習が交互に再生されます。聴き比べてみましょう。

くり返し練習する

お手本と練習の再生を切り換える

▶▶ ボタンを押します。

同じフレーズをくり返し練習する

手順4と5をくり返します。・何度でもくり返せます。(前回の録音は、自動的に消去されます。)

聴き比べレッスンを終了する

メニューボタンまたはA-BC/削除ボタンを押す

聴き比べレッスンが終了します。(練習録音は、自動的に消去されます。)  
・メニューボタンを押したときは、メニューが表示されます。  
・A-BC/削除ボタンを押したときは、再生画面に戻ります。

使いかたのヒント

・手順2と3でフレーズの指定を間違えたときは、もう一度A-BC/削除ボタンを押して開始地点と終了地点を取り消してから、指定し直します。